

## 国際技術動向調査ユニット会議を開催

- ◇開催日：平成26年10月31日(金)
- ◇開催場所：北国ビルディング 4階会議室

招へい研究者の研究課題に関し、各研究課題の概要、進捗状況などをもとに、国際競争力を持つ事業化へのアドバイス、情報交換等を行う、国際技術動向調査ユニット会議を開催しました。

全ての招へい研究者の研究テーマを対象に、研究の背景、進捗状況、事業化展開状況等について、資料・担当コーディネータからの説明を基に、質疑応答、意見交換を行い、各委員より国際的な観点から、知財、薬機法、マーケティング情報等、事業化等に向けてのアドバイスをいただきました。



## 外部評価委員会を開催

- ◇開催日：平成26年12月18日(木)
- ◇開催場所：金沢都ホテル

北陸ライフサイエンスクラスター事業の「地域イノベーション戦略の中核を担う研究者の集積」、「大学等の知のネットワーク構築」等における活動計画、運営・実施状況、研究成果の実用化等について、評価並びに、改善に資するコメント・アドバイスを得て、平成27年度の事業推進に反映して行くため、外部評価委員会を開催した。関係者向けの成果報告会を兼ねて実施しました。



## 第3回北陸ライフサイエンスクラスター シンポジウム

### 『医療・医薬品産業の成長戦略その2～バイオ医薬事業への取り組み～』の開催

- ◇開催日：平成27年2月5日(木)
- ◇開催場所：富山電気ビルディング
- ◇主催：一般財団法人北陸産業活性化センター 北陸ライフサイエンスクラスター推進室  
富山県バイオ産業振興協会
- ◇共催：一般社団法人富山県薬業連合会、富山県立大学バイオ医薬技術研究会  
北陸ライフサイエンスクラスター推進協議会
- ◇後援：経済産業省中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局
- ◇参加者：約70名
- ◇プログラム

- 〈講演会〉 ・「次世代バイオ医薬品製造技術研究組合のご紹介」  
次世代バイオ医薬品製造技術研究組合 (MAB) 事務局長 巖倉 正寛 氏
- ・「YBIRD：バイオ医薬品の研究開発支援拠点  
～微生物系にも動物細胞系にも対応したタンパク質調製・プロセス開発サービスについて～」  
横浜バイオ医薬品研究開発センター (YBIRD)  
公益財団法人木原記念横浜生命科学振興財団 常務理事 小田 祥二 氏
- ・「富士フィルムのバイオ医薬品への取り組み」  
富士フィルム株式会社 医薬品・ヘルスケア研究所 所長 嶋田 泰宏 氏
- 〈パネルディスカッション〉 「北陸の医薬企業はどのようにバイオ医薬に取り組むか？」  
パネリスト 講演会講師 3名 (巖倉正寛氏、小田祥二氏、嶋田泰宏氏)  
モデレータ 株式会社ファーマトリエ 代表取締役 岡村 元義 氏

バイオ医薬事業への進出は、これからの北陸及び日本の医薬品産業の成長戦略を考える上で大きな課題であり、「医療・医薬品産業の成長戦略 その2～バイオ医薬事業への取り組み～」と題し、第3回北陸ライフサイエンスクラスターシンポジウムを開催しました。

シンポジウムでは、北陸のバイオ医薬事業戦略や振興策について考えるため、次世代バイオ医薬品製造技術研究組合 (MAB) 及び横浜バイオ医薬品研究開発センター (YBIRD) の関係者を招き、経済産業省、横浜市のバイオ医薬振興への取組の紹介とともに、富士フィルム (株) から同社のバイオ医薬事業への取組みを紹介いただいた。続いて、(株) ファーマトリエの岡村元義社長をモデレータとしたパネルディスカッションを行いました。



## 第1回北陸ライフサイエンスクラスター推進協議会を開催

◇開催日：平成27年2月18日(水)

◇開催場所：金沢都ホテル

平成26年度第1回北陸ライフサイエンスクラスター推進協議会を開催しました。  
永原会長のあいさつの後、福井プロジェクトディレクターから平成26年度活動状況報告と、平成27年度活動計画(案)について説明が行われました。平成27年度活動計画については、提案した内容が了承されました。  
石川県食品協会や石川県立大学からは、機能的食品・健康食品等の開発に向けた取り組みの連携強化、各大学等からは、外部資金獲得に向けた情報共有の推進、金融機関からは、商品化・事業化における金融・マーケティング支援等々、北陸ライフサイエンスクラスター事業推進に対し助言や意見交換が行われました。



## 平成26年度 第1回コンバートEV事業化研究会を開催

◇開催日：平成27年1月8日(木)

◇開催場所：金沢都ホテル

平成27年1月8日(木)、金沢都ホテルで平成26年度の第1回コンバートEV事業化研究会を開催しました。  
研究会での議論に先立ち、福井県産業労働部の保坂武文プロジェクトマネージャーから福井県が今年度具体的に進めている福井次世代農業プロジェクトの紹介が行われました。このプロジェクトでは次世代の農業に向けた支援として、①衛星利用、②ロボット開発、③農業機械のEV化、の3つのワーキンググループ(WG)を立ち上げ個々に進められています。特に③のWGでは来春、小水力発電とEV化した軽トラックを組み合わせて農家の支援を行う実証試験を予定しており、今後の本研究会との連携も期待されます。

また、本研究会の草加浩平アドバイザー(東京大学大学院特任教授)からは、平成22年から電気自動車の普及に向けて取り組んできた自身が幹事を務める電気自動車普及協議会が、「低炭素社会の実現」をより強力に進める目的で、電気自動車全体を活動の対象にする一般社団法人電気自動車普及協会に組織移行したことが報告されました。

次回の研究会は3月開催を予定しており、5年にわたる当財団のコンバートEVの活動を総括します。



保坂武文プロジェクトマネージャー



研究会の様子

## 「北陸地域の製造業における中小企業の現状と課題」に関する調査・研究事業

### 第3回調査委員会

◇開催日：平成26年12月9日(火)

◇開催場所：金沢都ホテル

◇参加者：委員5名 事務局5名

アンケート結果および調査の全体的なまとめ方について議論しました。

### 第4回調査委員会

◇開催日：平成27年2月24日(火)

◇開催場所：金沢都ホテル

◇参加者：委員5名 事務局7名

報告書のとりまとめについて議論しました。



第3回調査委員会

## ■ 「北陸地域における農業分野の今後の方向性」に関する調査および研究

### 第4回調査委員会

- ◇開催日：平成27年2月25日(水)
- ◇開催場所：金沢都ホテル
- ◇参加者：委員5名 事務局8名

報告書の取りまとめについて各委員の意見を聞きました。

### ■ 第13回理事会

- ◇開催日：平成27年1月14日(水)
- ◇開催場所：ホテル日航金沢
- ◇参加者：理事6名、監事1名ほか事務局

「国補助金獲得時の北陸産業活性化センターの組織体制(案)」について審議を行いました。



### ■ 第12回評議員会

- ◇開催日：平成27年1月26日(月)
- ◇開催場所：ホテル日航金沢
- ◇参加者：評議員5名ほか事務局

北陸ライフサイエンスクラスター事業について、平成26年度主要実施業務の状況について報告をしました。



## ■ 財団の行事一覧

平成26年12月から平成27年2月までの行事

12月 9日(火)	「北陸地域の製造業における中小企業の現状と課題」に関する調査・研究事業 第3回 調査委員会	金沢市
12月18日(木)	【北陸ライフサイエンスクラスター】外部評価委員会	金沢市
1月 8日(木)	第1回コンバートEV事業化研究会	金沢市
1月14日(水)	第13回理事会	金沢市
1月16日(金)	第13回中部・北陸産業活性化センター連絡会議	金沢市
1月26日(月)	第12回評議員会	金沢市
1月28日(水)	北陸産業活性化フォーラム	金沢市
2月 5日(木)	【北陸ライフサイエンスクラスター】第3回シンポジウム 医療・医薬品産業の成長戦略 その2 ～バイオ医薬事業への取り組み～	富山市
2月18日(水)	【北陸ライフサイエンスクラスター】推進協議会	金沢市
2月24日(火)	「北陸地域の製造業における中小企業の現状と課題」に関する調査・研究事業 第4回調査委員会	金沢市
2月25日(水)	「北陸地域における農業分野の今後の方向性」に関する調査・研究事業 第4回調査委員会	金沢市

### 3月以降の行事予定

3月 2日(月)	【北陸ライフサイエンスクラスター】第4回シンポジウム 再生医療の社会実装に向けて その2 ～北陸ものづくり企業はどのように再生医療事業に参入するか～	金沢市
3月 9日(月)	第14回理事会	金沢市
3月13日(金)	産業技術総合研究所 技術普及講演会	富山市
3月17日(火)	第13回評議員会	金沢市
3月18日(水)	第2回コンバートEV事業化研究会	金沢市
3月24日(火)	講演会「人工知能・スーパーコンピュータはここまで来た！」	金沢市

※当財団では、行事のご案内を随時ホームページでご紹介しております。是非ご覧ください。

# 株式会社みずほ銀行富山支店

**創業** 明治13年1月旧富士銀行  
明治35年3月旧日本興業銀行  
昭和46年10月旧第一勧業銀行  
平成25年7月現株式会社みずほ銀行へ統合  
**所在地** 富山県富山市桜橋通り5-13  
**資本金** 1兆4,040億円（銀行全体）

**従業員** 26,250人（銀行全体）  
**ホームページ** <http://www.mizuhobank.co.jp/>  
**事業内容**  
・預金業務、貸出業務、商品有価証券売買業務、  
有価証券投資業務、内国為替業務、外国為替  
業務社債受託および登録業務、附帯業務



富山支店長  
美尾邦博氏

「サービス提供力・信頼No.1」を目指しグループ一丸となって取り組む株式会社みずほ銀行富山支店にお話を伺います。

## —御社について教えてください

「みずほ銀行」は、第一勧業銀行、富士銀行、日本興業銀行の3行が統合して生まれた金融機関です。前身の3行は、いずれも大正から昭和の初めまでに富山支店を開設し、富山ならびに北陸のお客さまと長いお付き合いをいただいていたまいりました。

「みずほ」の特徴は、みずほフィナンシャルグループという持株会社の下に「銀行・信託・証券」の3つの主要な金融機関を束ねており、グループ一体で総合金融力を発揮できる強みを持っていることにあります。銀行・信託・証券が揃った「OneMIZUHO」をキャッチフレーズに〈みずほ〉ならではのサービスを提供しております。

当行は、国内は全都道府県に合計461店舗、海外は79の拠点を有しており、海外では、成長が続くアジアを中心に更なるネットワークの拡大を図っております。こうしたネットワークを活かし、お客さまのニーズに応じた海外進出支援はもちろんのこと、北陸地域と県外のお客さまとのビジネスマッチングの機会も提供しております。

## —富山支店の取り組みについて教えてください

当行では「銀行・信託・証券」の一体運営を加速させており、それらが同じ建物内にある当店は、全国の支店でも数少ない共同店舗となっております。あらゆる金融サービスをワン・ストップで提供でき、銀行で扱っていない商品でもお客さまのご要望があればその場でご紹介できます。

また、当行は各地域で「6次産業化ファンド」を設立し、農林漁業の成長産業化のサポートを行っています。ここ北陸においても、農業分野の2次3次産業との連携や、地元金融機関のご協力を頂きながら、新たな商品の創出やビジ



富山支店

ネスの支援に向けて、北陸地域の発展に貢献していきたいと思っています。

地域貢献活動としては、みずほグループをあげてアルペンルート



アルペンルートの清掃活動

の清掃活動やお子さま向けサマースクール、カターレ富山の応援、更には、みずほの創業者の一人である安田善次郎翁の生家跡公園の清掃活動などを行っています。

## —新たな分野への取り組みについて教えてください

近年、イスラム圏からの観光客の増加や、イスラム圏への医薬品・加工食品の輸出が進んでいることから、イスラム戒律に則っていることの証明（例えば、食品で、イスラム教の戒律で禁じられている豚肉などを含んでいないことの証明）である「ハラール認証」の取得を検討するお客さまが増えています。当行は、イスラム圏の海外拠点を数多く有しており、ハラール認証取得に詳しい専門家のご紹介などサポート事例も蓄積してきています。富山支店においても、認証取得に必要な手続きやノウハウなどのご提案・サポートや、ハラールをテーマにしたセミナーの開催などの支援を目指しています。

また、コールセンターでの人工知能「Watson」導入や、スマートフォン向け「かんたん残高照会アプリ」のご提供、ユニバーサルデザインを採用した「ATM画面リニューアル」実施など、お客さまの満足度向上につながる取組みを継続しております。

これからも、お客さまに選ばれ続ける金融グループとして、更なる総合金融サービスの提供を目指しグループ一丸となって取り組んでまいります。引き続き宜しくお願いいたします。